

※ A4版2ページ分をA3版1枚に印刷して使用してください。

記入例  
(植林)

(様式第1号)

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定による許可を申請します。

2年 1月 10日

申請者(氏名) 佐渡 太郎

佐渡市農業委員会 様

農業委員会受付

整理番号

記

1 申請者の住所、氏名、職業等

氏名	年齢	住所	職業
佐渡 太郎	75	佐渡市 千種 232番地	農業

2 許可を受けようとする土地の所在、地目、面積等

土地の表示		地番	地目		面積 (㎡)	利用状況	10a当たり普通収獲高	耕作者の氏名	市街化区域、市街化調整区域、その他の区域の別
大字	字		登記簿	現況					
千種	朱鷺	123-4	畑	畑	567の内489	休耕	—	佐渡 太郎	その他の区域内
						以下余白			
						部分転用の場合は「○○○の内□□□」と記入			
						都市計画区域内であれば「その他の区域内」と記入 〃 外 〃 「 〃 区域外」と記入			
						不耕作の場合も「田」「畑」と記入			
計		489 ㎡		(田 — ㎡ 畑 489 ㎡)					

3 転用目的

植林 (あてび100本)

許可番号 佐農委許可 第 号

上記のとおり許可します。

年 月 日

佐渡市農業委員会 長

1 条件 別紙記載のとおり

2 注意事項 別紙記載のとおり

3 教示事項 別紙記載のとおり

Ⓜ

2部提出してください(添付資料は1部です)。

4 転用計画

①(転用しようとする事由の詳細)

高齢に伴い農作業の効率化を図るため、条件の良くない当該農地を用材林地とすることを目的に、アテビを植林して隣接する所有山林を拡張したい。

工事着工は許可日以降

工事完工日以降

該当文言を○で囲むこと  
一時転用  
永久転用

②転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施行の概要

農地等以外の土地を含む場合は、事業計画面積のすべてについて記載すること。

工事計画	着工 年 月 許可日から 完工 2年 8月 31日 日まで				土地利用 の面積
	名称	棟数	建築 面積	所要 面積	
土地造成					田 - m <sup>2</sup>
建築物					畑 489 m <sup>2</sup>
工作物					採 - m <sup>2</sup>
(例) アテビ	100本		500		他 11 m <sup>2</sup>
計			500		計 500 m <sup>2</sup>

③ 事業の操業期間又は施設の利用期間

2年 9月 1日 から  
永年間

永久転用の場合は永年間、一時転用の場合は、その利用期間

5 資金調達についての計画

資金所要額	整地費 - 円	自己資金 550,000 円
総額 550,000 円	建設費 - 円	借入金 - 円
	その他 550,000 円	借入先

事業面積に他 11 m<sup>2</sup> (非農地) が含まれる場合はイコールとなる。

6 付近の土地、作物、家畜及び生活環境等への被害防除施設の概要

申請農地の位置から見て、集団的な農地と離れているため、蚕食したり分断する恐れがなく、また周辺に存在する小規模な農地が南側にしかなく、かつ高低差があるので日照、通風等に支障を及ぼす恐れがないことから被害は与えません。

7 その他参考事項

年○月○日農業振興地域(農用地)除外済

添付書類

添付した書類に○印を付す

- (1) 法人にあっては、法人登記簿謄本又は抄本及び定款又は寄附行為の写
- (2) 申請土地の登記事項証明書(全部事項証明書)
- (3) 申請土地に係る地番を表示する図面
- (4) 申請土地の位置及び付近の状況を表示する図面(縮尺は1/10,000ないし1/50,000程度)
- (5) 申請土地に建設しようとする建物又は施設の面積、位置及び施設物間の距離を表示する図面(縮尺は1/500ないし1/2,000程度)
- (6) 申請土地が土地改良区の区域内にある場合には、当該土地改良区の意見書
- (7) 資金調達についての証明書類
- (8) 所有権以外の権原に基づいて申請する場合には、所有者の同意があったことを証する書面、申請土地に地上権、貸借権等に基づく耕作者がいる場合には、その同意があったことを証する書面
- (9) 当該事業に関連して法令の定めるところにより許可、認可、届出等を要する場合においてこれを了しているときは、その旨を証する書面
- (10) 当該事業に関連する取水又は排水につき関係権利者の同意を得ている場合には、その旨を証する書面
- (11) その他参考となるべき書類